

# 各地区業況アンケート結果（28年5月調査分）

（28年5月31日）

全国鉄鋼販売業連合会

5月30日締切で、当会役員154名に対しこのアンケートを行ったところ67名の回答があり（回答率43.5%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 4割強が前年同月比数量減

問1】貴社の4月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計
売上数量/前年同月比	7	9	22	13	16	67
比率	11%	13%	33%	19%	24%	DI-33
売上金額/前年同月比	6	7	16	20	18	67
比率	9%	10%	24%	30%	27%	DI-55

## 2. 減少傾向止まらず

問2】貴社の営業窓口から見て5月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI
公共建設向		2	22	19	10	53	-70
民間建設向		2	29	20	7	58	-55
自動車向		1	19	17		37	-43
その他需要家向		2	27	25	6	60	-58
仲間取引		2	23	27	6	58	-64
計		9	120	108	29	266	-59
比率		3%	45%	41%	11%		

## 3. 黒字は5割弱

問3】貴社の4月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計
企業収益状況	9	24	23	9	2	67
比率	13%	36%	35%	13%	3%	DI+43

## 4. 夏場もそれほど期待できず

問4】貴社における向う6月から8月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計
短期需要動向予測	1	23	37	4	2	67
比率	2%	34%	55%	6%	3%	DI +25

## 5. 在庫調整、若干進む

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	品種別	A	B	C	D	E		5月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-52	-31	-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	鉄筋用丸鋼		4	13	5	1	23	-13
-31	-15	-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	構造用丸鋼			23	6		29	-21
-19	-17	-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	平角鋼		2	21	5		28	-11
-29	-18	-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	H形鋼		2	21	4		27	-7
-19	-30	-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	コラム		1	15	7		23	-26
-27	-17	-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	小形山形鋼		1	27	5		33	-12
-33	-17	-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	中形山形鋼		2	25	7		34	-15
-30	-20	-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	溝形鋼		1	25	8		34	-21
-48	-34	-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	軽量形鋼C形			19	7	7	33	-64
-32	-22	-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	軽量形鋼広巾			16	5	1	22	-32
-58	-41	-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	冷延薄板			18	10	1	29	-41
-50	-31	-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	熱延薄板			25	11	1	37	-35
-55	-35	-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	表面処理鋼板			20	14	1	35	-46
-60	-55	-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	酸洗鋼板			18	12	1	31	-45
-42	-33	-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	中板			25	12		37	-32
-29	-34	-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	厚板			27	10		37	-27
-16	-20	-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	極厚板		1	14	3		18	-11
-19	-18	-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	縞板			22	7	1	30	-30
-33	-29	-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	中径角			24	9	1	34	-32
-21	-18	-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	ガス管黒		1	22	9		32	-25
-32	-16	-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	構造用鋼管			23	6	1	30	-27
-35	-26	-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	計	0	15	443	162	16	636	-28

6. 市況上昇も価格転嫁困難、需要は相変わらず低調

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	北海道も急激なスクラップ高。丸棒メーカーの出し値が切り上がっている。市況も徐々に上がっている。暫くは上向きの市況が続くと思われる。
	B	電炉品の値戻しが相次ぎ、流通の販売価格改定に向け、早急にユーザーへの動向説明をPRしている。大型案件は夏場以降、山積み状況と見られるが、中小物件の盛り上がりが見えておらず、慎重な対応が望まれる。
東北	A	電炉メーカーの大幅値上げの中で、鉄筋のオーダーは45円。それ以上の新規案件は望めない。メーカーの5万円を超える唱えが虚ろに響いてくる日は意外に近いのではないかと。
	B	ただ受注残を粛々とこなしている。平成28年度は期待している。
	C	春需に向け大きな期待をしていた。しかし、引合いも少なく荷動きも悪い。7月前半から多少動き出すのではないかと。工事案件も中小の倉庫中心。4月に倒産事故が発生した。今後増えてくるのではないかと。大変不安である。
	D	忙しいファブと暇なファブの格差が大きくなってきた。昨年12月より一次加工が減っている。同業者も売上が伸びていない。価格が下落している。債務不安も出てきている。
新潟	A	建築金物、自動車、産機は低位だが、エアコン、器物は季節的需要、輸出向けで増加傾向である。Hグレードファブは関東物件中心に受注残が相応にあり、山谷はあるものの安定推移である。Mグレードファブの稼働は足元悪く、長期的な山積みを確認できる状況ではない。一般製造業は業種によって濃淡があるが、全体的に仕事量は少なく推移している。先行き不透明感が強い。価格は海外市況の反転を受け、メーカーサイドでは国内反転への動きが出始める。
	B	メーカーの値上げ発表から価格は下げ止まったようだ。これから徐々に価格を戻したいが仕事が出てこない。
	C	メーカーの値上げが発表されたが、いまいち市況は盛り上らない。需要はないまま、リーマンショック後よりも悪く感じる。
神奈川	A	需要は期末の生産調整もあり、当月の受注はやや減少。价格的に底入れ感があるが、実需が伴っていない。更にもう一段、市況が下がることになれば、非常に厳しい。
	B	期初の環境は厳しく、5月は稼働日の影響で更に厳しくなる見通しである。
東京	A	市況は形鋼で底値感が出てきたものの荷動きは良くない。板は更に荷動きが悪く、状況は好転していない。
	B	前年同月に比べ数量、金額ともに激減。
	C	仲間売りの荷動きは低迷したままである。輸入材やスクラップ価格の上昇もあり、荷動きが出れば、市中在庫の状態は改善されるのではないかと。本格的な値上げが始まれば駆け込み需要もあると思慮。
	D	一部の土木関連を除き、ほぼ全分野で低調。

東京	E	(素材厚板)電炉の値上げを受け、4月20日前後は徐々に販売増となった。前月比20%増。しかし、GW(5月初め)から注文が止まった。ユーザー自体が休みだとは思われるが波が大きすぎる。ここへきて、SN材の引合いが出てきた。恐らく、今まで短納期契約をしていた各メーカーのリードタイムが炉修等により延びたためだと思う。なぜなら、買手は建機、建築系の商社が多かったから。また、5月より再販価格を上げているが、販売量がそれにより減った感じは今のところしていない。(切板)GW前の駆け込みもなく、低位横ばいが続いている。建築は少なく、産機の切板、それもベース厚が来るのみで、極厚は少ない。
	F	メーカーの値上げ発表があったが、うまく値上げが出来るか心配である。
静岡	A	輸送用機械関連の企業は横ばいが続いている。公共工事の発注も少なく、上期の早期発注に期待している。昔と違い、市況を無視して安く仕入れた在庫を安価で売る商売が目立つ。鉄屋の商いの原点はどこへ行ったのか。
	B	新年度に入ったあとも、需要は盛り上らず変化はない。原料、鉄鋼製品価格の上昇に伴い、夏以降に期待。
	C	すべてはGW明けから徐々に需要が出てきた感じではないか。流通オンリーで明日はないことがはっきりしている。材工共の請負、認定品取扱い、開発、どれをとってもハードルが高い。メーカーの値上げ、人手不足などの問題がある。S造が増加している。ソーラー物件は全国津々浦々にまだまだあるらしい。中国製とのドッグファイトになり、まさかという価格でネガティブになる。高炉厚板の店売り品で値上げの報告があった。建築ヒモ付きは「検討」している。理由は底堅い建築デマンドがベースだが「検討」の間にサプライされる低価格の物量が大変多い。信用問題もさることながら後継者難が表面化している。
富山	A	3月、4月と出荷が著しく落ち込んでいる。前年同月比2割以上の出荷減である。メーカー5月契約で市況は上げていくだろうが、競合は激化を予想する。厳しい。
	B	住宅以外の建築物件は減少傾向である。午後3時には仕事が終わってしまうユーザーも散見される。契約残も大小かかわらず半分位になりつつある。
石川	A	電話の鳴りが悪くなっている。鋼材市況は値戻しの方向へ向かっているだけに仲間同士の価格競争の激化が懸念される。
	B	冷え込みまではなっていないが、荷動きが悪い。特に薄板系の乱売が続いており、関東地区から安値品が入ってきている。鉄屑が値戻しされ、鉄筋、H形鋼も値戻しされたが、とりあえず駆け込み発注で終わっている。熊本、大分は震災の影響で公共事業の予算が震災地と東京以外は減らされているとの噂で諦めムードが多い。
福井		連休前、スクラップの海外向けが決まり、少々、値戻しがあったが、東鉄のトン7千円アップは如何なものか。安定した市況を願っているが、そうはいかない。新幹線も入札前価格を出していたが、それを上回る価格を出されても迷惑なだけである。その他の工事は官、民ともに少ない。市況は需要と供給のバランスを考えて出してほしい。
愛知	A	自然災害、三菱自動車問題など当地区の車の影響は大きい。東北地震の教訓が生かされていない。大企業のコンプライアンスとは何のことか。弱者への影響が大きいことを理解してほしい。家具は前年並である。その他プロパー向けは前年を上回っている。
	B	心配された自動車生産への影響は小幅に留まった。ただ、遅れている生産の挽回で年内は生産水準が高く推移するものと思われるが、今のところ部品確保の状況を確認しながら次週の予定は週の半ばにしか確定しない。余裕のない状態が続いている。円高の一服が、輸出に好影響を及ぼすことを期待したい。

愛知	C	トヨタ、三菱のトラブルから自動車関係に不安が広がっている。トヨタは順調に回復し、また三菱の問題もこの地域には即影響ということはないが、これからどうなるのか。自動車以外、まだまだ動きが悪いが、鋼材価格の上昇、輸入鋼材、スクラップの値上げに続き、高炉メーカーの大幅値上げ表明が市況、需要に好影響をもたらすことは間違いない。
	D	経済環境はあまり良くない。大きく売上が落ちることもないが、上がることもない。
	E	当会地区はトヨタ自動車の操業日数減や公共事業の遅れなどにより、需要の悪い状況が2～3ヶ月続いている。4～6月期の自動車の予定台数も伸びていないことから1～2ヶ月は低需要が続くと思われる。
大阪		5月に入り、中小物件を中心に多少の動きが出てきたが、まだ本格的な動きというには力強さが欠ける。本格的な動きが出てくるのは秋以降かと思われる。異形棒鋼メーカーは大幅な値上げを出しているが、市場ではこの動きに反応するような需要はなく、粛々と価格のみが一人歩きしている。
岐阜		短納期、少ロットの仕事でバタバタしているだけで、物量が非常に少ない。鉄骨も少なく、機械、航空機器なども見込みは悪い。
広島		4月中旬以降、各メーカーより強気の価格提示が聞こえ始めた。スクラップ、電力料金などのコストアップが主因とのことだが、肝心の需要環境が整わないことにはユーザーへの価格転嫁は難しく、採算が悪化するだけである。供給側の一方的な値戻しは反感を買うだけ損をするので、買い物は慎重に行って発注先を選別していきたい。肝心の需要環境は地震の影響か。九州の応援特急工事以外は相変わらず低調のままである。
香川		メーカー値上げにより、市況は改善方向にあるが需要はまだ盛り上りに欠く。連休明けの動きに期待している。
福岡		新年度がスタートしたが、仕事の落ちついている感がある。また、震災の影響で自動車、半導体、いろいろなところで生産ラインがストップしている。今後、どのくらいの影響が出てくるのか不安である。しかし、忙しくしている業種（特殊車両など）もあるので、そこから受注確保してマイナスを補いたい。新年度がスタートしているが今後の需要動向が掴みづらい。
北九州	A	スクラップ値上がりにより、電炉メーカーの販価が上がり、鉄筋丸鋼、形鋼とも二次特約店からの明細が増えるも、足元の実需は横ばいと思われる。まだ、熊本地震による影響を懸念している。
	B	メーカー値上げの割に仮需はなく、実需も震災の影響か活発な動きが見られない。メーカーからの入荷は順調で在庫は過剰気味である。相場は小中で回復しており、利ザヤは改善しているため利益確保の商売もと思うが、引合いは少なく収益が伸びない。当てが外れた感じである。6月以降、持ち直す感じもあり、今は我慢か。